

オリンピック選手たちと

夢の語り合い

4月強化合宿を本市で行っていたボート日本代表チームが、23日は田鶴野小学校で、25日は城崎小学校で、本市では初となる交流教室を実施しました。

田鶴野小学校では、6年生24人が参加。講師はボート競技で2度のオリンピック出場経験を持つ吉田理子^{（現）}コーチです。子どもたちは合宿中のU23代表選手たちとバスケットボールを使ったゲームなどで交流を深めた他、選手を囲んでのトーク時間には、自身の夢や豊岡の自慢などを語り合いました。

《問合せ》スポーツ振興課
☎21-9023



▲ゲームでU23代表選手と打ち解けた児童。夢について語り合いました(田鶴野小学校)

豊岡の歴史を学ぼう

新しくなった歴博で

4月26日、市立歴史博物館「但馬国府・国分寺館」がリニューアルオープンしました。

常設展示では、但馬国府・国分寺に加え、新たに本市の紹介を拡充。特に、本市のまちづくりの基礎となった江戸時代は、豊岡陣屋や北前船など、当時の街並みや暮らしなどをイメージした絵本のようなパネルで紹介しており、歴史を楽しく学べます。

《問合せ》市立歴史博物館「但馬国府・国分寺館」☎42-6111



▲地元園児にお披露目会。普段見ることのない展示物に園児は興味津々

市政 ニュース

〈主な市政の動き〉

【4月】

- 22日・兵庫県農業共済組合連合会などと農業共済の県内一組合理化に向けた覚書を締結
- 23日・ボート日本代表チームオリンピックとの交流教室(田鶴野小学校、25日・城崎小学校)
- 26日・市立歴史博物館リニューアルオープン
・日本ボート協会と連携協定・公認パートナー契約

【5月】

- 29日・スプリングスポーツフェスティバル
- 7日・豊岡演劇祭実行委員会設立総会
- 8日・女性の就労に関する協定を締結
・外国版ホームページ「Visit Kinosaki」リニューアル
- 9日・春季市政懇談会(豊岡、10日・但東)
- 11日・第98回水道まつり
・第1回新文化会館を考える市民ワークショップ



演劇祭の開催に向け

実行委員会を設立

5月7日、本庁舎庁議室で、但馬県民局などと、豊岡演劇祭実行委員会を設立しました。「演劇のまち・豊岡」の実現策の一環で、同演劇祭で「深さをもった演劇のまち」としてのブランドイメージを構築します。

設立総会後の企画部会では、平田オリザさんを部会長に選出。9月6日(金)～8日(日)に開催する第0回演劇祭のプログラムなどを協議しました。
《問合せ》大交流課 ☎21-9081



▲企画部会委員は文化芸術や観光、交通、行政機関などで構成

女性の就労を促進

5月8日、本庁舎庁議室で、厚生労働省兵庫労働局と豊岡市ワークインベーション推進会議、本市が「豊岡市女性の就労に関する協定」を締結しました。

本市は「多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまち」を目指し、まず、職場におけるジェンダーギャップの解消(女性にも働きがいがあり、働きやすい職場の増加)に取り組んでいます。

この協定は、官民が連携して職場の変革を促すとともに、そのような職場への女性の就労を促進するものです。
《問合せ》ワークインベーション推進室 ☎21-9004

教育委員会委員が就任

教育委員会委員の深田 勇さんの任期満了に伴い、市議会の議決を経て、新しい委員に成田壽郎さんが就任しました(5月17日付、任期4年)。
《問合せ》教育総務課 ☎23-11117



▲成田壽郎さん

中貝市長の徒然日記 ⑬

国際女性会議など

3月、劇作家・平田オリザさんが鶴屋南北戯曲賞を受賞され、帝国ホテルで授賞式がありました。受賞となった「日本文学盛衰史」は、城崎国際アートセンターで滞在制作された作品です。

日本ミステリー文学大賞・綾辻行人さんらの授賞式も同時開催され、赤川次郎さんも出席される、盛大な会でした。ほくも出席しました。原作者の高橋源一郎さんや演じた劇団「青年団」の皆さんとも再会を果たしました。

お祝いに、友人たちとネクタイを贈りました。「人前に出る機会が増えるでしょうから、このネクタイをして立派な社外人になってください」
実は、外務省から、同じ日、同じ時間帯に開かれる、安倍総理主催の国際女性会議レセプション出席の打診がありました。ほくはその会議にパネリストとして招かれています。「市長、どうされますか?」と秘書が尋ねてきました。

会場は迎賓館。魅力的です。「うーん、安倍さんと平田さんかあ?」と一瞬うなづいてから、「そりゃ、平田さんだろ」
平田さんがこのことを受賞挨拶の中で話をされ、ほくは一躍「青年団」の英雄になったのであります。

翌日。政府主催の国際女性会議。基調講演は、ノーベル平和賞受賞者のマララ・ユスフザイさん。ほくの順番は、「地域活性化と雇用創出、そのためのリーダーシップ」というパネルディスカッションです。ほくの隣は、片山さつき・地方創生担当大臣です。

お信じにならないでしょうが、豊岡市長の発表は、不思議なこと大受けでした。セツシヨンが終わるや、最前列で聞いておられた西村康稔・官房副長官と安倍昭恵さんが寄ってこられ、かたい握手を交わしました。降壇後、次々と挨拶にこられた方々の中にマケドニアの駐日大使(女性)がおられたのは驚きでした。
でも、前夜のことがあるので、安倍昭恵さんには、少し気が引けたのであります。